



# 羽衣

はごろも 金春流

漁師の白龍は、仲間と三保の松原へ釣りに出かける。そこで松の枝に掛かった美しい衣を見つつけ、宝物にと持ち帰ろうとする。すると天女が現れ、自分の衣を返してほしいと頼んでくる。しかし白龍は返そうとしない。天女は衣がなければ天へは帰れないと、嘆き悲しむ。それを見た白龍は、天女の舞を見せてもらえるならと衣を返すことにする。

喜ぶ天女は羽衣を着て、月の世界や三保の松原の美しさを表現しながら舞い続け、やがて富士の彼方へ舞い上がり、空の霞にまぎれ消えてゆく。

# 鉄輪

かなわ 宝生流

京都貴船神社の社人に「丑の刻に参りをする都の女に神託を伝えよ」と夢の告があった。社人が貴船神社に幾晩も参詣していた女に神託を告げると、女の髪が逆立ち雷鳴が轟く。

女の元夫、下京辺りに住む男は連夜の悪夢に悩み有名な陰陽師安倍晴明を訪ねた。すると先妻の呪いにより、夫婦の命は今夜で尽きると見立てられる。男の懇願に応じた晴明は祈禱欄に夫婦の形代を載せ、呪いを肩代わりさせるための祈禱を始める。そこへ神託の通りに、三つの脚に火を灯した鉄輪「五徳」を頭に載せ鬼となった先妻が現れた。鬼女は捨てられた恨みを述べ、後妻の形代の髪を打ち据え、男の形代に襲いかかる。しかし神力に退けられ、時機を待つと言った姿を消す。

# 杜若 恋之舞

かきつばた 観世流

三河国の八橋にやってきた僧が、沢辺に咲き誇る杜若に見とれてみると、里の女が現れ、こは杜若の名所で、在原業平が「かきつばた」の五文字を句の頭にそえた哀愁歌を詠んだ場所だと教え、僧を自分の庵へ招く。

やがて、女は業平の冠と、業平と恋仲だった二条の後・高子の唐衣を身につけて現れ、自分は杜若の精だと告げる。歌舞の菩薩である業平に和歌を詠んでもらい、非情の草木でも恵みを受け成仏されたと語り、優美に舞い始める。

# 黒塚

くろづか 金春流

紀州熊野の山伏、阿闍梨祐慶一行は、諸国行脚の途中、奥州安達原に着く。日も暮れ、あてのない一行は重ねて頼み込み、女の家に向かおうと泊めてもらうことになった。山伏が興味を持つので、女は歌を謡いながら杵杵輪で糸を繰る様を見せた後、もてなしの焚火をするため山へ木を取りに行くから、決して寝室を覗かないようにと念押しして出かける。かえって不審に思った能力は山伏達が寝入った隙をみて中を覗くと、そこには人の死骸が山と積んであった。

女は安達原に住むと噂の鬼であった。慌てて逃げる一行に、女は約束を破った事を非難し、恨み襲いかかってくる。山伏達は必死に祈り、遂に祈り伏せられた鬼女は恨みの声を残して夜嵐とともに消え失せる。

## チケットのお求め方法は以下の2通りございます

### ① 先行予約販売 3月4日(土) 午前10時から

- 一般販売に先駆けて電話先行予約(S席・A席)を実施します。
- A席は割引になります。
- 電話先行予約時の座席指定・案内は出来ませんのでご了承ください。
- 電話先行予約の際は、申込順に順次最前列より座席をお取りします。
- 受付日時・電話番号をお間違えないようお願い致します。
- 電話が混み合いがかりにくい場合がございますがご了承ください。

受付日: 3月4日(土)、5日(日)、11日(土)、12日(日) 午前10時~午後3時(※4日のみ午後5時まで)

受付電話番号: 0120-400-106

引換期間: 3月22日(水)~3月30日(木)

引換場所: 大宮駅観光案内所または浦和観光案内所  
※上記期間に引換できない場合、予約は無効となります。  
※代金引換配達販売も行います。

### ② 一般販売 4月7日(金) 午前10時から

販売期間	販売場所	販売時間等
4月7日(金)~ 完売まで	大宮駅観光案内所 (JR大宮駅東西自由通路内) ☎048-644-1144	10:00~13:30 14:30~18:00 年中無休
4月7日(金)~ 4月16日(日)	浦和観光案内所 (アトレ浦和South Area) ☎048-883-1055	10:00~18:00 年中無休

## 守り伝えよう人類の口承及び無形遺産の傑作

### ユネスコによる「無形文化遺産 能楽」

ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)は世界の無形文化遺産保護の一環として、平成13年5月「人類の口承及び無形遺産の傑作の宣言」を行いました。これは歴史、芸術、民俗学、社会学、人類学、言語学、文化などの観点からたぐいえない価値を有する伝統的文化の継承と発展を目的としており、日本からは能楽がこの第一回傑作として宣言されました。

## ●鑑能券(全席指定・パンフレット付)

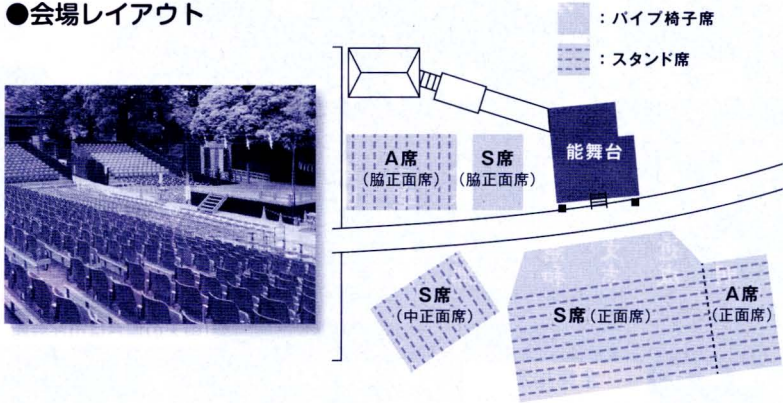
S席 ¥7,000 A席 ¥6,000(A席は先行予約期間内、¥5,000)  
※現金のみ取扱い(カード不可)

## ●会場 武蔵一宮氷川神社境内

さいたま市大宮区高鼻町1-407  
交通●JR大宮駅東口から徒歩20分、または東武野田線大宮公園駅から徒歩15分  
※雨天の場合は市民会館おおみや大ホールに変更(会場決定 午後3時)

- 演能中の入場は一切できません。演能開始後は幕間まで入場できません。
- 演能前に曲目の解説を行います。
- 内容等は変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

## ●会場レイアウト



お問い合わせ先	事務所	048-647-8339(土・日・祝日休み)	残券状況のみ回答可
	大宮駅観光案内所	048-644-1144	
	浦和観光案内所	048-883-1055	

## 公益社団法人 さいたま観光国際協会